

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	大原	農道・林道・水路等補修事業補助事業について、補助率の弾力化と限度額の拡大をお願いする。 近年の豪雨はゲリラ化しており、被害が大きく被害額も高額になっている。過去には地域住民で対応していたことも、高齢化により対応できない。高額な工事費は地元負担が大きく、財源の捻出に苦慮している。	近年、工事の金額が高額になっている状況が見受けられ、100万円の工事に対して25万円しか補助が出ていないという案件が多々あります。こういった状況を踏まえ、現在、上限額の見直しについて検討しています。出来れば新年度から、要綱改正をして、予算確保できればと考えて調査しているところです。 美作市の財政がきつい時の制度で、財政の建て直しをしていた時の名残です。個々の事業の規模の問題もありますが、財政全体として少し余裕ができており、25万円では市民の方に申し訳ないと考えています。	建設部
大原	大原	要望書の扱いについて、緊急の案件(井堰・護岸・河川浚渫)から対応してほしい。また、市の対応状況について、進捗状況等随時報告、連絡をしてほしい。	河川の浚渫関係等について多数の要望をいただいています。いただいた要望書については、月ごとくらいで整理して、県に持参し内容を説明しています。その段階で、今まで提出している分の状況等がわかれば、聞いて帰るということを年間通してやっています。検討中ということで、返事がもらえない案件も多々あり、予算が付いて新年度の頭でないときちんとした回答がもらえないのが実情ですが、進捗について回答があったものについては、すぐに地元に戻すように努めていますので、よろしくお願いします。	建設部
大原	大原	井堰が全体的に老朽化しており、いつ壊れても不思議がないような状況になっている。簡単な修繕はお願いしているが、可動堰といったものを考えてもらえないか。水害が出るたびに井堰の貯水口に土砂がたまる。以前は人力で行っていたが今は出来ない。業者に頼んでも入る道がない。水が出るたびに、水門を開けたり閉めたり調整するが大変で、心配で寝ることが出来ない。井堰については、浚渫だけではなく、全体的に考えてもらいたい。 井堰があるために土砂が溜まるので、併せて浚渫もお願いしたい。井堰、護岸、そして砂防ダムも30年来の土砂が堆積して、大雨が降れば土石流が出るのではないかと危険を感じている。	井堰などについては、基本的に川の中にあるので、県の事業との関係が多いのですが、事業手法を選べば市ができないこともあります。かつ、農業者の方々に負担を求めるのは、限界があるということで、負担金を安くしています。 水路等の農業用施設は農業関係だけではなく、防災も担っています。弾力的に扱う考えで少しずつ進もうとしています。その財源がほしいということで、太陽光発電パネル税を考えています。	建設部

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	大原	井堰の関係で、30年災のときに江ノ原の田んぼにかなり土砂が入った。堤防のかさ上げをすればよいと最初は思ったが、谷川からの水がはけないため、結局川を深くしないと、川に流れないものが内側に流れて田んぼがやられてしまう。下へ下げるとことは堰を下げるしかない。 維持、メンテナンスの関係でどんなものがよいか研究中だが、効率のいい可動堰で、少なくとも1mくらい川底を下げれば深くなる。	その論法で、江見の大還橋井堰の撤去を行います。そして、平福が行っているように水中ポンプで川から利水する方式を考えています。岩盤の上に1.5mの井堰を作っているので、井堰を取れば1.5m水位が下がる計算になります。ただし、地形にもよるので、個々に検討する必要があります。	建設部
大原	大原	道路沿いの緑地帯の花壇について、かつては婦人会、老人会で管理をしていたが、高齢化により対応できなくなり景観が悪化している。景観、環境保全のために撤去等、地元の要望に沿った対応をしてもらいたい。草が生えて困るので、更地にして車でも置けるようにならないか。	中町の交差点のことと思われますが、大きな花壇があります。建設当時のいきさつや管理協定があると推察しますが、実際の管理が大変ということであり、地元のアイディアなり意見で、こんな風にしてもらいたいということがあれば、要望として取りまとめてください。それに基づき県と協議を行うこととします。	建設部
大原	大原	通学路に樹木、草が繁っており通学に支障をきたしている場所が多々あるので、早急かつ定期的に整枝、伐採、草刈をしていただくなど通学路の安全確保をしてもらいたい。	道路沿いの木が茂っている部分について、最近も要望をいただいたところであり、県には要望を上げています。口頭で済む分は口頭で対応しています。県も道路パトロールで対応できる箇所については、早急に行うとのことですが、ボリュームがあり委託作業ということになれば、発注対応となるので時間がかかります。継続的に県に要望していきたいと考えています。	建設部
大原	大原	古町尾根木地区の国道429号歩道整備について、Ⅰ期とⅡ期に分けて測量、設計、用地買収と進捗しているが、工事が長期化しており、住民からの不信感もあるので、早期に全面完了するよう県に強く働きかけてもらいたい。	Ⅰ期、Ⅱ期に分けての事業化になっていますが、県の予算上の都合によるものと思われます。大きな事業費で立ち上げると予算が付きにくく期間がかかることから、2期の工事に分けて進めているものと推察します。今年度着工で工事に入っており、Ⅱ期工事についても併せて設計に着手しており、今のところ、Ⅰ期工事が終わった段階で、順次Ⅱ期工事に継続して入っていきたいと伺っています。ただし、岡山県が財政調整をしており、来年度マイナスシーリングをかけているようなので、政策費が切られ、なかなか前進しないかもしれません。	建設部

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	大原	(市より) 可燃ごみの収集は、夏場3ヶ月間であったものを、近年5月からの5ヶ月間と年末年始の各2週間に増やしているのが現状ですが、可燃ごみを年間を通して2回収集することについて、他の地域からも要望が上がっています。 他の地域では、小さいお子さんやおじいさんおばあさんのおしめが大量になるとの意見がありました。女性の方を含めて、この要望が強まっていることを感じており、全市的な要望が強ければ、例えば都市公園の交付金を活用するといったことで、検討せざるを得ないという雰囲気になっています。	(地元) そうしていただければありがたい。	環境部
大原	讃甘	前回、五輪坊、旧讃甘保育園、焼肉ハウス等が老朽化しており、武蔵周辺の再開発をお願いしていたが、未だ進展がないので、今後について市の方針をお伺いしたい。	大原地域の方約10名にお願いして検討委員会を設けています。10月21日に第1回目の検討委員会を開催して、これまでの経過や施設の利用状況を報告、12月16日には、第2回目の会議を開催し、各委員より整備に対する意見等を伺いました。 施設の整備については、公設民営を基本に考えています。施設は市で整備し、民間事業者により施設を運営していただくことで、市の負担する経費を縮減したく、業者を募集して提案を求め選定していくということで準備をしています。 ブランド力、ネームバリューがある中で、誘客のシステムといったソフト面でよい提案があるかをよく見ないといけません。武蔵のブランドであったり、田舎のよさであったり、公民館活用型の連携であったり、あるいは、西栗倉村や奈義町、佐用町なども含めた、近隣の観光地のネットワークセンターになるといったアイディアの上に、それを具体的実現できるアイディアを乗せることができればと思っています。	経済部

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	讃甘	滋慶学園の学生の増加状況と今後の見通しについて教えていただきたい。	美作スポーツ医療看護専門学校については、平成30年度開校以来、1年目は30名程度、2年目も30名程度、今年度の4月は60名弱の入学があり、9月末現在で122名の生徒数となっています。看護学科については、全学年がそろった状態で、今年度卒業生が出ます。そのうち数名は大原病院など地元就職すると聞いています。実際には国家資格を取らないと現場で働けませんが、地元への就職希望が数名いることを確認しています。滋慶学園高等学校については、9月末現在で、全体で157名が在籍し、うち実際に20数名が通学しています。開校1年目は5名、2年目は10数名、今年で20数名という状況になっています。年度途中の編入や、3年次に編入してきた子はすぐに卒業するということがあり、前年度との比較が難しいですが、順調に進んでいると感じています。 コロナの影響で募集活動が行いにくい状況ですが、学校としては積極的にホームページでの魅力発信や、可能なところについては学校訪問などにより募集活動をしており、来年度についても看護学課は定員どおり40名程度、介護学科についてもできるだけ集めていきたいと聞いています。ただし、日本語学科については、コロナの影響を注視しつつということになるので、10月1日時点では、何名集まるか不透明です。	教育委員会
大原	讃甘	滋慶学園については、看護師の人材が不足している中で、例えば奨励金などで地元にとどめる方法を考えていくのか。せっかく学校ができているので、市内で勤めてもらい、一人でも多く確保できたらよいという気持ちを持っている。何かメリットがあれば地元に残る。	地元の子がなぜ地元の専門学校に行くのかといえば、できれば地元に住たいため、そういうお子さんを受け入れるキャンパシティは美作市の医療機関等にあります。美作市内に就職すれば返済不要の奨学金の制度もあります。一時の賑わいだけではなく、OB、OGの方が市内にいて、だんだんと滋慶を盛り上げていき、気がついていたらそこで教えていたとなるのがベストです。 ただし、大阪や姫路から来ている子が当地で就職するのは難しいと考えています。県内の子は県内に戻す、県外の子は県外に戻すということが基本方針であるご理解ください。	教育委員会

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	讃甘	美作市農業再生協議会における、水稻の基準収量は市内同一である。南部と北部では、気象条件が異なることから肥培管理では克服できず、十分な水田活用の直接交付金を得られない場合も多く、北部での飼料用米等の作付け拡大の阻害要因のひとつと思われる。地域により基準収量の差をつけることを検討してもらいたい。	いわゆる転作により、水田で食料米ではなく、飼料用米、米粉用米を生産したときに、交付金が支給されますが、基準収量が高いと受け取る交付金の額が少なくなります。令和2年産の基準収量は反当り505kg、約8.4俵という数字が出ていますが、過去の収量を基に、市町村ごとに岡山県が算出したものを採用しています。圃場ごとに収量が異なるため、例えば坪刈をして基準収量を出すようなことは現実的には難しいとは思いますが、南北に長い市なので、何かよい方法がないか研究をさせていただきます。	経済部
大原	大野	地域住民の山林への関心は次第に薄れており、また、高齢化に伴い山林管理が困難な状況にある。自治区が管理し保護料のある市有林は、旧大原町、旧東粟倉村のみであり、将来にわたり行政的な負担が課題になると推測する。 要望のあるものは払い下げ、ないものは保護料の権利放棄により純粋な市有林にするなど整理が必要と考えるが、市の基本的な考え方はいかに。	山林については、これまで市に寄付するといわれてもお断りしていましたが、このままでは適切な管理がなされないまま山林が荒廃していくことが懸念されます。市有林の払い下げや寄付については財産に関することですので、議会のご意見も踏まえながら柔軟な対応ができるよう検討を進めます。	総務部

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	大野	山林の現状は、担い手不足による管理放棄による荒廃に加え、負の遺産として放棄され権利者不明のものが増加することが危惧される。 今後の山林管理について、基本的な方針があれば伺いたい。	森林管理の基本はすべての山林を管理することになります。一点目に、できる人は自分で行う。できない人は市で預かり森林経営計画を樹立する方法もあります。二点目に、具体的な方針は山林ごとに違ってきます。例えば作業道等が整備された山林で、再造林しても儲かるかもしれない山林と、立地条件が悪い箇所に新植した山林があります。おそらく後者の山林は、今後の森林経営は困難なので、切ったら天然更新での蘇生とせざるを得ません。ただし、すべての山林で森林経営計画を樹立しておかないといけないというのは理由があり、例えば、固定価格で電気を買収する制度により、森林経営計画がある山林から搬出された木材はFIT価格が40円/kWhと高くなります。木材を売るときに多少高くなるので、重要な視点になります。美作市の森林経営計画は、現在352ha程度しか計画ができていませんが、これを早い時期に3～4倍にするように考えています。 森林経営計画を樹立する事により様々な補助制度が活用できます。国の方針に従い、すべての山林を管理しますが、個人でできるものは個人、できないものは市も参加して森林管理を行っていきます。	経済部
大原	大野	五輪坊および周辺施設の再編計画について、現在ほとんどの施設が老朽化しており、今後再編の計画があれば教えてもらいたい。	大原地域の方約10名にお願いして検討委員会を設けています。10月21日に第1回目の検討委員会を開催して、これまでの経過や施設の利用状況を報告、12月16日には、第2回目の会議を開催し、各委員より整備に対する意見等を伺いました。 施設の整備については、公設民営を基本に考えています。施設は市で整備し、民間事業者により施設を運営していただくことで、市の負担する経費を削減したく、業者を募集して提案を求め選定していくということで準備をしています。 ブランド力、ネームバリューがある中で、誘客のシステムといったソフト面でよい提案があるかをよく見ないといけません。武蔵のブランドであったり、田舎のよさであったり、公民館活用型の連携であったり、あるいは、西粟倉村や奈義町、佐用町なども含めた、近隣の観光地のネットワークセンターになるといったアイディアの上に、それを具体的に実現できるアイディアを乗せることができればと思っています。	経済部

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	大野	川上ダムバルブの4つのうち1つが動かない。ここ数年、毎年修繕をお願いしている。市によれば、「ダムは県の持ち物であり、市は取り次ぐ立場」とのことだが、県から地元への報告がない。市として県にどのように要望しているのか、また、アフターフォローはどうなっているのか。 昨年、地区が認可地縁団体になれば、新たな方策があるかもしれないとのことであったが、併せて伺う。 受け皿が、美作台地か大原台地かよくわからないが、現存しない幽霊団体と聞いている。最終的には県の管理にしないといけないということだが、県に働きかけをするとすれば、どういう手順を踏めばいいのか、テクニク的なものを含めてアドバイスをいただきたい。どういう方法で進めたらよいかかわからない。	利水として継続して使うということを強く言うと地元で管理しろということになりかねません。撤去してもらってもいい、それ位腹をくくって話さないとなかなか際がつかないかもしれません。 県に話に行かざるを得ないかもしれません。これだけ丁寧に話を聞いており、地元はやめてもいいと言っているくらい言わないといけなかもしれません。 懇談会後に県からは、「ダムの中に民地が残っていたが、所有者の確定ができたため、買収の予算を来年度計上して整理する。それが完了した後に、大原台地改良区の解散等について改めて協議を行いたい。また、取水のバルブについて再確認を行ったところ①と④に不具合があった。①はスライドゲートが固着していたが、グリスを注入し動くようになった。④については、来年度利水期が過ぎてから点検するので、もうしばらく時間をいただきたい。」との説明がありました。	建設部
大原	大野	大野保育園の跡地について、老朽化しているので解体を含めて検討してもらいたい。解体して更地にしていただければ十分。年に1～2回草刈をしていただいているが、中に踏み込める状態ではなくなっている。	地元の総意で解体でよいという方向性になっているものと感じており、解体を行うことを検討します。	大原支所 総務部
大原	大野	スクールバスの走行上の安全面ということで、市道の滝、大家から桂坪の間に路線があるが、草木がかぶり運行上支障が出ている。これは切って貰ったら済む話なのでお願いします。	現地を確認し、実施を予定しています。	大原支所
大原	大野	大野コミュニティの屋根はトタンで葺いてあるが古くなっており、先年も雨漏りがして、応急措置はしてもらっているが、業者が言うには早急に葺き替えるべき時期にあるとのことである。業者の言うことを鵜呑みにはできないかもしれないが、昨年支所の方に屋根に上ってもらい、老朽化しているのは間違いないと確認してもらっている。屋根の葺き替えをお願いしたい。予算的にもまとまった額になると思うが、だめなら塗装をし直すなど、そういったことも含めて検討してもらいたい。	支所が管理している施設ですが、建設部の設計をする職員と一緒に確認させていただきます。	大原支所

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	大野	市道倉持線、川上と笹岡をつなぐ山越えの道路だが、古くなっており軽トラでも途中までしか行けなくなっている。せめて軽トラが通れるくらいには直してもらいたい。これは川上地区と笹岡地区の両方から要望が出ている。	現地を確認し、実施を予定しています。	大原支所
大原	大野	道路、河川、農業用用水の改修について、市や県に要望するが、進捗状況がわかりづらい。県は着手するまで返事をしないという話を聞いたが、地元からすれば着手するのかもしれないのか、例えば予定はあるが予算の関係で先になるのか、そういったことをある程度つかめないと、さっぱりわからないことが多い。程度の差はあれど、市にも同じことが言える。市にも農業用水などいくつも要望しているが、やはり着手する時点でやっとわかる。再三どうなっているのかを尋ねるが、尋ねないと答えないというものではない気がする。概略で結構である。地元を代表して要望している者として、地区民に納得のいく説明をしないと埒が明かない。できないのならできないでもよいので返事をしていただき、できるだけ細やかな配慮をお願いしたい。もちろん災害が起きて手一杯のときまでは求めないので、通常の業務の中ではやってもらえればありがたい。	農道・用水路・林道などの修繕については、申請・要望をいただいて、現地確認を行い申請者と協議をさせていただくスタイルで現在進めています。今後も、各総合支所と連絡を取りながら、対応していきたいと思いますので、ご理解ご協力をお願いします。	建設部
大原	大吉	平成30年災では、赤田地区で吉野川の左岸側の堤防が洗われた。河川の氾濫により、大吉コミュニティへの避難ができなくなるので、大吉地区全体のパラペット工事をお願いしたい。	河川改修については順次下からやっている状況で、パラペット工事など緊急を要する箇所については、要望をいただいたところから、緊急度に応じて進めていくと聞いています。全体を要望するという形では、県も尻込みすると思うので、具体的な箇所についてご相談いただければ、要望書を作るなどして県へ要望したいと考えています。	建設部

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	大吉	農林事業の災害復旧工事において、休耕田は小災でもなかなか拾ってもらえず個人負担となり、結果耕作放棄地となるので、基準を下げてもらいたい。 また、井堰の土砂については、重機借上事業等で対応しているが、上限により地元の負担がかさむことになる。農林事業の負担金の上限をなくしてほしい。	一般の災害復旧の場合、農地は40万円以上が対象になっています。被害が広範囲に及び激甚災害に指定された場合、小災害ということで1箇所当たり13万円に引き下げられますので、すべてのケースで13万円以上なら復旧できるというわけではないことはご理解ください。 負担金の上限については、質問の内容により、重機借り上げ等の上限と解釈します。重機借り上げや原材料支給についても、市の単独事業である25万円上限の補助事業と同じ要綱に基づくので、現状にマッチしているかを併せて検討します。	建設部
大原	大吉	川戸に住んでいるが、用水の取り口にしょっちゅう土砂が入る。そこは道路から距離があるため、大きい重機が入らない。そのためお金がかかり、来てもらって帰るだけで、ほとんど補助金がなくなってしまう。補助金の上限についても、ぜひ考えてもらいたい。	小規模な工事の補助について、7～8年前に財政がきついからといって絞った時期がありました。さまざまな話を聞くと悲鳴に近い声になっており、制度を緩める方向で作り直さないといけないという基本ラインは出しています。後はどこまで上げるかという具体の検討を行うこととします。	建設部
大原	大吉	昨年度、大野地区ではクマの目撃情報によりスクールバスの運行があった。本年度、立石地区でクマの目的情報があつたが、大吉地区ではスクールバスの運行がなかった。スクールバスの運用基準を明示してもらいたい。	スクールバスの運行については、集落の中心から4kmを目安として運行を行っています。2kmほどまったく人家がないところを一人で登下校しないといけない場合、スクールバスが通っている沿線であれば、安全確保ということで、地区の方々と協議しながら同乗するという対応が取れると思います。全くバスが通っておらず、新たに1軒だけあるといわれる箇所が市内各地域にあり要望も聞いていますが、1人のために1台の車を運行することは難しい状況です。クマの件もありますので、全面的とはいえませんが検討を行っていきたいと考えています。	教育委員会

R2 行政懇談会 提言等回答一覧

地域	地区	提言等の内容	回答および対応状況等	担当部
大原	大吉	スクールバスの件について、難しいとは思いますが共同バスが利用できないか。去年もお願いしたが、中学校の始業時間に間に合うように何とかならないか。共同バスが朝一便で江見から林野に行くが、江見で汽車に間に合うように子供を降ろして、江見からこちらに上がってもらえば可能である。あるいは、小学生用の大きなバスがあり、小学生も少なくなっているの、中学生の希望者はそれが利用できないだろうか。	ルートの理解はしますが、林野高校の学生に影響が出ると思います。共同バスが車両と運転手を増やせばできるかもしれませんが、他の往復ルートも考慮しないといけないと思います。市としては、スクールバスに乗車できるか、検討していきたいと考えています。	教育委員会 市民部
大原	大吉	赤田残土処理場へは、以前は赤田方面から搬入していたが、現在は田井方面からの通行をお願いしている。しかし、今でも赤田から通行する車両があり、保育園があることなどから危険なことに加え、舗装も痛んでいる。業者への指導をお願いしたい。	赤田・田井地区残土処理場については、岡山県発注工事の仮残土置き場として使用しており、使用にあつては、岡山県からの「残土搬入申請書」の提出に対し許可を出しています。残土処理場への搬入経路については、2～3年前に、赤田地内の市道壬生滝線と淀川戸志越線の交差点改良を行った際に、市道壬生滝線が優先道路となったことに伴い、その流れで田井方面からの搬入になったと聞いています。岡山県に対し、再度、田井方面からの通行を優先するようお願いします。	大原支所
大原	大吉	4月から大原保育園と大吉保育園が統合される。統合後の大吉保育園跡地の管理はどうなるのか。 大吉保育園の跡地を、社協が使うのならよいが、4月になって地元で何とかしろと言われたら困るので、地元管理か、市が管理するのか、社協に出されるのか、仮に地元管理であれば早めに教えてもらいたい。	地元の皆さんの意見を聞きながら、今後の利活用について検討していきたいと考えていますが、当面は市の管理となります。利用事業者があればそこに管理をしていただきますが、利用者がなければ建物の撤去を含めて検討することになると思います。	教育委員会 総務部